

輸入 A 型肝炎ワクチン（Havrix1440 成人用）について

A 型肝炎を予防するには予防接種が最も良い方法になりますが、深刻な供給不足が続いています。

そこでサナシオクリニックでは輸入ワクチンの導入を始めました。日本国内では未承認ではありますが海外では広く一般に使用され、世界大手製薬メーカーが製造販売しています Havrix1440 というワクチンです。

国内ワクチン（エイムゲン）と海外ワクチン（Havrix1440）の比較を下記致します。

	国産(エイムゲン)	輸入(Havrix1440 成人用)
	厚生労働省の承認を受けた国内用製剤	日本国内では未承認。 海外ではほとんどの国で承認を受けて広く臨床使用されている。
分類	不活化	不活化
メーカー	製造：化学及血清療法研究所 販売：アステラス製薬	製造・販売：GSK（Glaxo Smithkline 社） ※日本グラクソ・スミスクライン社では取扱っていません
接種対象者	16 才以上	19 才以上 (Havrix720 小児用は 1～18 才対象)
接種経路	皮下注射（0.5ml）	筋肉注射（1ml）
1 コース接種回数	3 回（2 回で約 1 年の免疫確保）	2 回（1 回で約 1 年の免疫確保）
接種間隔	2～4 週間空けて 2 回接種。 更に 6 ヶ月後に 3 回目の追加接種を行う事で 5～8 年有効。	1 回接種で約 1 年間。6 ヶ月～12 ヶ月の間に 2 回接種で約 15 年以上有効
副反応	【0.1～5%】局所の疼痛・発赤・掻痒・腫れ・硬結・圧痛。発熱・倦怠感・頭痛・下痢・熱感・全身筋肉痛など 【0.1%未満】蕁麻疹	【1～10%】局所の疼痛・発赤・腫れ・硬結。倦怠感・発熱・頭重・悪心など 【1%未満】局所の内出血。蕁麻疹・発疹・皮下出血・かぜ様症状・腹痛・下痢・嘔吐・筋肉痛・関節痛・リンパ節腫脹・めまい・不眠・光過敏等
補足	輸入に比べて 1 回の単価が安価。 主に国内のみに流通しているワクチンの為に海外接種は不可。	国産に比べて 1 回の値段が高い。 世界中で数多く利用されているので追加接種が海外で可能。

■副作用救済制度について

日本国内で承認されているワクチンは健康被害に対する救済制度が確立されていますが日本国内未承認ワクチンについてはその救済制度は対象外になります。そのために国内未承認ワクチンの副作用に関する救済補償制度は、当院が輸入を依頼しています IMMC 社による独自の補償制度に従うことになります。IMMC 社は防衛省や国公立の医療機関等と取引のある会社です。

※ IMMC 社救済制度については[コチラ](#)